

8/27
五曜

邦人乗船条件でない

防衛相答弁「国民守る」は建前

26日の参院安保法制特別委員会で、中谷元・防衛相は、集団的自衛権行使の判断基準として「邦人が米艦船に乗っているかどうかは絶対的な条件ではない」と述べ、安倍晋三首相が集団的自衛権の行使容認のために訴えた「邦人を乗せた米艦を防護し、国民を守る」の文言は建前だったことが示されました。民主党・大野元裕

議員に対する答弁。

大野氏は、安倍首相が言及する「邦人輸送中の米艦が攻撃された」事例が「なぜ(集団的自衛権を行使する)存立危機事態にあたるのか」と質問しました。中谷氏は「存立危機事態に該当するかは、総合的に判断する」と繰り返したため、審議は中断。追及された中谷氏は、現行法では邦人を乗せた米艦防護ができない点に触れ「これすらできなくていいのか」と(集団的自衛権の必要性を)示した事例

だった」と述べ、結局「判断要素の一つ」と認めました。

大野氏は「国民感情に訴えて、法的な立法事実を覆い隠す。とんでもない姑息(こそく)なやり方だ」と批判しました。

ウオツチ
戦争法案